

一般質問



水 志 議員

○ふるさと納税の現状と今後の取り組みについて

質 松浦市民が他の自治体にふるさと納税をし、寄付金控除をされている市民税額を伺います。

税務課長 令和6年度は1384万6千円でした。

質 市独自のサイトを通じた寄付件数と寄付額および全体に対する割合を伺います。

文化観光課長 ポータルサイトの手数料が必要ない松浦市特設サイト及びふるさと納税カタログからの寄付については、359件、1638万3千円であり、寄付全体に対する割合については、件数は0・4%、寄付額では1・4%でした。

質 令和7年度に向けた目標と、達成に向けた具体的な取組方針や計画内容を伺います。

文化観光課長 16億円を目標としており、達成に向けた取り組みとしては、ふるさと納税業務改善指針を取りまとめ、令和7年度からの業務改善に向けた準備作業に取り組んでいます。指針の主なものについては、市特設サイトの改善、SNS活用、

配送料の縮減、寄付額算定方法の見直し、広告戦略、寄付目的の設定としており、これらに取り組むことにより、寄付額を伸ばすことができるよう取り組んでいます。

質 寄付者の善意に応えるため、年度ごとに寄付金をどのように活用し、どのような成果が得られたのか、情報公開を見直す考えがないか市長のお考えを伺います。

市長 これまで寄付目的を、「まち」きらし事業、「ひと」きらし事業、「しごと」きらし事業、市長におまかせ、の4つとしていましたが、令和7年度からは、これらに加えて、具体的な事業を寄付目的に掲げるよう検討しています。

今後は事業の実施状況の推移や活用した事業を寄付していただいた方が把握できる情報発信に努めていきたいと考えています。

質 ふるさと納税制度を活用して、行政が積極的に支援をして地場産業の創造をしなければならぬと考えますが、市長のお考えを伺います。

市長 地場産業の支援に有効な投資は、引き続き取り組んでいきたいと考えており、ふるさと納税の寄付額を伸ばし得られる財源を、市内の活性化に活用することは重要な取り組みだと認識しています。

一般質問



山 田 議員

○市民のライフライン・水道管の老朽化対策について

質 松浦市においては水道事業は黒字であり、水道料金の値上げをしていないとよく耳にするが、水道管の老朽化の現状はどうなっているのか伺います。

上下水道課長 令和5年度末における上下水道管路延長は約481キロメートル、そのうち25%程度の122キロメートルが法定耐用年数（ビニル管…40年）を超えています。

質 浄水場、配水池を含めて、老朽化の状況がどうなっているか伺います。

上下水道課長 浄水場、配水池などの関連施設については、耐用年数が10年や15年である期間が短い電気や機械、計装類等が含まれており、令和5年度末の資産の数値では、47・8%が耐用年数を経過しています。

質 青島、黒島、飛鳥3地区の水の供給事情はどうなっているか、また海底送水管の水漏れは無いかわかっています。

上下水道課長 黒島については黒島浄水場を有していますので、現地で

水を作り、配水しています。青島、飛鳥については、海底送水管を使い、本土側から送水をしています。現在、飛鳥への送水管に漏水が見られる状況です。

質 水道料金の見直しをどう考えているのか伺います。

上下水道課長 料金の改定については、水道事業の経営戦略を令和7年度中に策定をし、それを踏まえ料金改定を行いますので、令和8年度以降に料金改定を予定しています。

○重点支援地方交付金を活用する物価高騰対策事業について

質 各課の主な取り組みについて伺います。

農林課長 肉用牛経営支援事業、農業生産資材価格高騰対策事業、土地改良区電力価格高騰対策支援事業、農業資材価格高騰対策緊急支援事業に取り組んでいます。

水産課長 漁業経営継続支援事業、養殖漁業経営継続支援事業に取り組んでいます。

長寿介護課 介護サービス施設等物価高騰対策緊急支援事業に取り組んでいます。

産業振興課 交通事業者支援給付事業、運送事業者等燃油価格高騰対策支援給付事業、プレミアム付商品券事業に取り組んでいます。